

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道9号 仁摩・温泉津道路	事業主体	中国地方整備局																										
所在地	島根県邇摩郡仁摩町仁万～島根県邇摩郡温泉津町福波																												
事業概要	<p>一般国道9号は、京都市を起点として、山陰地方の主要都市を經由し、下関市に至る延長約650kmの主要幹線道路である。</p> <p>仁摩・温泉津道路は、島根県邇摩郡仁摩町から温泉津町内における現道の隘路区間の解消、緊急時の代替路線の確保、及び現道と広域交通との機能分担を目的とした延長11.8kmの道路である。</p>																												
事業着手	平成11年度着工準備																												
総事業費	約660億円	既投資額	平成14年度末まで 約14億円(進捗率 2%)																										
再評価の視点	<p>ア)事業をめぐる社会情勢等の変化</p> <p>当該地区の国道9号は、山陰地方を東西に貫く唯一の幹線道路であるが、区間内には平面・縦断線形ともに悪く、背高海上コンテナ輸送車が通行できないトンネルが多いことに加えて、多数の防災点検要対策箇所が存在し、事故や災害等が起きれば、幹線道路としての機能が確保できない。また、生活道路と広域交通が輻輳しており、特に夜間の大型車混入率が高く、交通事故が多発している。</p> <p>イ)費用便益分析 (残事業費)/(全体事業費)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">道路事業に要する費用</th> <th style="width: 50%;">道路整備による便益</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・総費用</td> <td>走行時間</td> </tr> <tr> <td>評価対象期間内</td> <td>短縮便益 1,111/1,111億円</td> </tr> <tr> <td>=整備期間+40年</td> <td>走行経費</td> </tr> <tr> <td>(総事業費 660億円)</td> <td>減少便益 136/136億円</td> </tr> <tr> <td>残区間整備に必要な事業費 637億円</td> <td>交通事故</td> </tr> <tr> <td>現在価値換算事業費 520/544億円</td> <td>減少便益 77/77億円</td> </tr> <tr> <td>事業費 520/544億円</td> <td>・総便益(B)</td> </tr> <tr> <td>維持管理費 51/51億円</td> <td>+ + = 1,324/1,324億円</td> </tr> <tr> <td>総費用(C) + = 571/595億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">費用便益分析の結果</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">B / C = 2.3 / 2.2</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">「費用便益分析マニュアルによる」 (H15.8.1付け国都街第39号, 国道分評第15号通達)</td> </tr> </tbody> </table>			道路事業に要する費用	道路整備による便益	・総費用	走行時間	評価対象期間内	短縮便益 1,111/1,111億円	=整備期間+40年	走行経費	(総事業費 660億円)	減少便益 136/136億円	残区間整備に必要な事業費 637億円	交通事故	現在価値換算事業費 520/544億円	減少便益 77/77億円	事業費 520/544億円	・総便益(B)	維持管理費 51/51億円	+ + = 1,324/1,324億円	総費用(C) + = 571/595億円		費用便益分析の結果		B / C = 2.3 / 2.2		「費用便益分析マニュアルによる」 (H15.8.1付け国都街第39号, 国道分評第15号通達)	
道路事業に要する費用	道路整備による便益																												
・総費用	走行時間																												
評価対象期間内	短縮便益 1,111/1,111億円																												
=整備期間+40年	走行経費																												
(総事業費 660億円)	減少便益 136/136億円																												
残区間整備に必要な事業費 637億円	交通事故																												
現在価値換算事業費 520/544億円	減少便益 77/77億円																												
事業費 520/544億円	・総便益(B)																												
維持管理費 51/51億円	+ + = 1,324/1,324億円																												
総費用(C) + = 571/595億円																													
費用便益分析の結果																													
B / C = 2.3 / 2.2																													
「費用便益分析マニュアルによる」 (H15.8.1付け国都街第39号, 国道分評第15号通達)																													

便益算出の基となる交通量推計については、現在全国で高速自動車国道の整備方針を含め見直しが進められており、今回のB/Cは暫定値として示したものである。

事業名	一般国道9号 <small>にまゆのつ</small> 仁摩・温泉津道路	事業主体	中国地方整備局
再評価の視点	事業の必要性に関する視点	<p>ウ)事業の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害への備え （緊急輸送道路である現道が通行止になった場合に、大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する） ・国土・地域ネットワークの構築 （出雲・宍道湖・中海地方拠点都市地域と浜田・益田地方拠点都市地域を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する） ・物流効率化の支援 （現道における総重量25tの車両もしくは背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間（狭隘トンネル等）を解消する） ・安全で安心できるくらしの確保 （県立中央病院・島根医科大学医学部付属病院（出雲市）、国立浜田病院（浜田市）等、三次医療施設へのアクセスが向上が見込まれる） <p>エ)事業の進捗状況</p> <p>1．主な経緯</p> <p>平成11年度 新規着工準備 平成11年10月 環境影響評価方法書公告・縦覧 平成11年 ～平成13年 環境調査 平成15年5月 環境影響評価準備書公告・縦覧</p> <p>2．事業の進捗状況</p> <p>環境影響評価及び都市計画決定までの進捗状況 平成15年5月に環境影響評価準備書及び都市計画案の公告・縦覧を行い、住民意見及び知事意見を踏まえて、現在、環境影響評価書（案）を作成中である。</p> <p>その他事業の状況 なし。</p>	

事業名		一般国道9号 仁摩温泉津道路 にまゆのつ	事業主体	中国地方整備局
再評価の視点	事業進捗の見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画決定の進捗見込み 現在、環境影響評価書（案）を作成中であり、平成15年度末に都市計画決定の予定である。 ・用地・工事の進捗見込み 都市計画決定後、速やかに用地買収に着手するとともに、用地買収が完了した区間より工事に着手することとしている。 		
	コスト削減や代替案の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・予備設計段階で、幅員構成やインターチェンジの形状変更によりコスト削減を図った。 ・建設副産物の発生抑制や再生利用等によりコスト削減に努めることとしている。 ・橋梁設計等について、新技術・新工法の採用によりさらにコスト削減に努めることとしている。 ・また、 の視点により事業の見直しを図る必要はないと考えている。 		
今後の対応方針		<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続 平成15年度末に都市計画決定の予定である。 都市計画決定後、速やかに事業に着手し、早期供用を目指し事業を推進する。 		

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

事業再評価

平成16年1月

国土交通省 中国地方整備局

仁摩・温泉津道路の位置



現道状況 ……線形不良、災害危険箇所等が多数存在

・国道9号現道には、曲線半径が150m以下の急カーブ箇所(19箇所)や、勾配5%以上の区間(9箇所)のほか、防災点検要対策箇所(27箇所)や背高海上コンテナ輸送車が通行できないトンネル(4箇所)など、道路構造上問題のある箇所が多数存在。



防災点検要対策箇所(温泉津町)



歩道未設置・曲線半径150m以下箇所(仁摩町)



縦断勾配5%以上区間
(仁摩町)



背高海上コンテナ輸送車
通行不能トンネル(仁摩町)



現道状況 … 多発する交通事故と、頻発する通行規制

この区間では過去3ヶ年に35件の交通事故が発生。特に、単路部での事故が多発。

また、国道9号が2車線のため、交通事故や道路災害により度々の全面通行規制が発生。一方で、代替路線がなく、全面通行止め時には大きな迂回を強いられる状況。



事故による通行規制
(仁摩町馬路)



H10.7 大型車と乗用車衝突事故(仁摩町)

交通事故件数
(H12~H14): 35件
事故による全面通行止め
(H12~H14): 5回



全面通行止めによる社会損失額
[平成14年6月30日11時~12時]

規制時間 : 1時間
渋滞長 : 3 km
渋滞影響台数: 357台

事故損失額: 約1,800千円

全面通行止めによる社会損失額
[平成13年9月4日7時30分~9時30分]

規制時間 : 2時間
渋滞長 : 5 km
渋滞影響台数: 1,275台

事故損失額: 約8,500千円

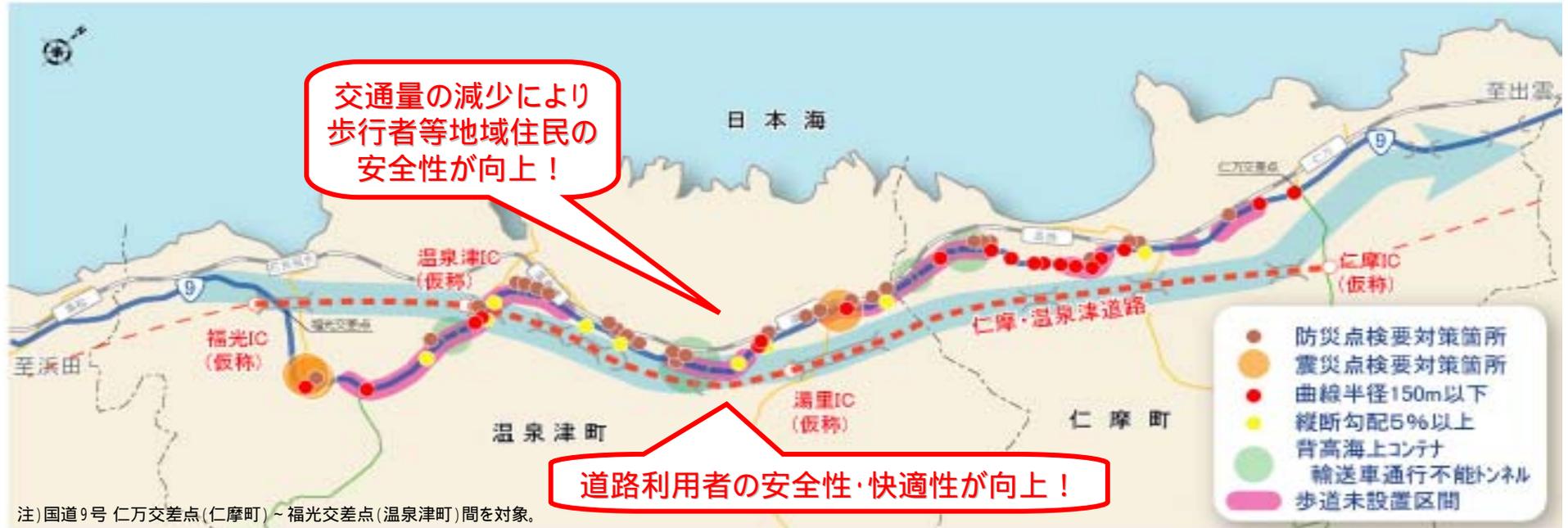


注) 通行止め箇所は、国道9号 仁万交差点(仁摩町)~福光交差点(温泉津町)間を対象。

) 距離・所要時間は、国道9号 仁万交差点~福光交差点(温泉津町)間で算定。所要時間算定の際の速度は、規制速度。

事業効果 …… 交通隘路・危険箇所 の解消、リダンダンシーの向上

・仁摩～温泉津間に多数存在する線形不良区間や、防災点検要対策箇所、歩道未設置箇所を通行する車両が減少し、道路利用者や地域住民の安全性が向上。



注) 国道9号 仁万交差点(仁摩町)～福光交差点(温泉津町)間を対象。

● 仁摩～温泉津間のリダンダンシーが向上し、国道9号が寸断した場合でも、安定的な活動を確保。



差(現況)
距離 約24km
時間 約35分

差(整備後)
距離 約1km
時間 約2分

1. 距離及び所要時間は、国道9号 仁万交差点～福光交差点(温泉津町)間で算定。
2. 所要時間算定の際の旅行速度は規制速度を使用。仁摩・温泉津道路は、70km/hと設定。
3. 仁摩・温泉津道路のランプ部及びアクセス道路分を含む。

● 事業効果②・・・移動時間の短縮、広域ネットワークの形成

・仁摩・温泉津道路を含む山陰自動車道が完成すると、県内都市間の移動時間は大幅に短縮。



- 背高海上コンテナ輸送車の通行を可能にし、広域物流ネットワークの形成や物流の効率化に寄与。
- 高度医療設備の整った中央病院への搬送時間が約2分短縮。



救急搬送は1分1秒が大切!



※所要時間は、平成11年度道路交通センサス 混雑時旅行速度より算定。
仁摩・温泉津道路は、70km/hと設定。